

マーサメリー通信

June 2018 Vol.1

mail to info@masmary.com URL masmary.com

ウクレレ奏者 勝 誠二

Ukulele Solo Live

「赤坂 Do you tonight?」

ロックでポップ、そして唯一無二のウクレレ奏者として活躍中の勝 誠二さん。勝さんの世界観に触れると、

「ウクレレってこんなに美しい音が出るの？」

「ウクレレってこんなに楽しい音が出るの？」

私が持っていたウクレレのイメージは、風が吹くごとくサーッ！と取り去ってくれたのは勝さんでした。そんなウクレレ美楽風奏者、勝 誠二さんの魅力と赤坂でのライブをご紹介します。

ウクレレの維新は勝から！

♪ 童謡を勝が扱うとこうなるという衝撃作！

「Do you?」(2017年8月)

シンプルで覚えやすいメロディ。子供の頃を思い出す童謡。幼馴染とお手手繋いで歌った「どんぐりころころ」は、カッコイイ「どんぐりころころ」に！「おもちゃのマーチ」は勇ましく！ 斬新で繊細な世界観。

♪ ビートルズをウクレレでカバー。イギリスのキャバレークラブ(ビートルズも演奏していたクラブ。1960年代にロックの中心地となる)で演奏し大喝采を浴びる。

♪ 4作目「J」と5作目「Katz sings HULA, vol.1」がハワイのグラミー賞と言われるナ・ホク・ハノハノ・アワード・インターナショナル部門で日本人初の2年連続ノミネートされる。

アイデア溢れる勝さんにライブについてお聞きしました。インタビューを是非お読みください。

当日は「赤坂 Do you tonight?」特別限定料理もご用意いたします。こちらもお楽しみに！

オーナーはミュージシャン・作曲家の宇崎竜童、作詞家の阿木燿子夫妻。1996年より様々なジャンルのライブを行っており、オーナー試食のもと旬の食材を使ったメニューやライブイメージの特別料理、ソムリエ厳選のワインもご用意してお待ちしております。



2018年7月1日(日)

開場 16:00 開演 17:00

予約 3500円 当日 4000円

(税別・ご飲食代別途)

会場

November Eleventh 1111 Part 2

港区赤坂 3-17-8 都ビル 2F

電話予約 03-3588-8104 (13時~18時月曜定休)

千代田線赤坂駅、銀座線丸の内線赤坂見附駅下車

徒歩5分 risingdragon.jp

マーサメリー(以下 MM):勝さん、こんにちは。
7月1日曜日 勝さんソロ・ウクレレライブ
『赤坂 Do you tonight?』、よろしくお願ひいたします!

勝: よろしくお願ひします。

MM: タイトルが、なかなか面白いですね。
どんな意味を込められたのでしょうか?

勝: 最初はお店のイメージから「mellow tonight」って思いついたんですけど、僕の場合あんまりメローじゃないかと(笑)。むしろ「ジャングルナイト」とかの方が近いかなと(笑)。「赤坂」っていうワードと、今夜は特別な夜っていう意味で「tonight」っていうワードは使いたいなと思って、間に最新アルバムの『Do you?』を挟んでみたらしっくりきたという。

MM: ウクレレは世界的に人気がありますが、そんなみんなに愛されているウクレレの魅力は、为什么呢? 長~くなくても良いですよ。(^-^)

勝: やっぱり人を油断させるところじゃないでしょうか。南国のゆったりしたイメージですからね。ウクレレを見ただけで、多分そんな気持ちになっちゃうんだと思います。

社会に出ると人間関係やいろんなことで、否が応でも緊張を強いられるじゃないですか。そんなところにポロリ〜って優しい音が聴こえてきたら、もうそれだけで心が緩んじゃうんだと思うんです。そんなところが支持されている理由なんじゃないかな。あとね、上手くならなくてもいい楽器って、多分ウクレレだけなんです。ピアノとかバイオリンは練習して上手になっていかなくちゃいけない楽器ですよ。でもウクレレはちょっと違う。上手くなれば、それはそれで楽しいけど、別に上手くならなくてもいいですよ。十分楽しい。そんな楽器なんです、ウクレレって。

MM: ウクレレのこだわり(音色)はありますか? 製造メーカーなど。

勝: 好きな音色はあります。やっぱり「まるやかさ」は第一条件ですね。今使っているのは函館の尾伊端さんという方が作っている oihata ukulele なんです。世界中から製作依頼が来るような方なんです。僕だけのオリジナル仕様で、とても気に入っています。「まるやかさ」はもちろん、なんか「色気」もあるように感じています。とても気に入ってます。

MM: リハーサルで大切にしているところは?

勝: 自分が立っている場所で聴く自分の音が、スピーカーの位置とかで聴こえ方が変わってくるので、そ

れが自分にしっくりと感じられるようになっていうのは、いつもチェックしています。あっさりとか決まっちゃうときもあるし、なかなか自分の中に届いてこないときもありますね。そんな時のリハは長くなっちゃいます。

あと、ものすごく素敵すぎてリハから気持ちよくなっちゃって、いつまでも弾いていたくなっちゃってリハが長引くときもあります(笑)。

MM: 今までで印象に残ったライブは?

勝: 通常のライブではないんですけど、ご年配の方が入られる施設でのライブですね。「水戸黄門」のテーマとか「ダイアナ」とかやったんですよ。「高校三年生」を歌ったらおじいさまが号泣されて。きっと何か思い出があったんでしょうね。それが楽しかった思い出なのか、悲しかった思い出なのかは分かりませんが、その方の人生と僕の人生がクロスした瞬間だなあと思って、音楽ってすごいなと。

MM: ライブで、ああ! たのしい! と思う瞬間は?

勝: もういっぱいありますよ(笑)。来てくださった皆さんが笑顔になった瞬間とか、もう最高ですね。

MM: 『赤坂 Do you tonight?』ライブの見所をこっそり教えて下さい!

勝: タイトルに最新アルバムの『Do you?』を使っているの、そのアルバムの中の、日頃なかなか出来ない曲をたっぷりやろうかなと。

MM: それでは、聴きどころは?

勝: 実は最近になって弾き方とか変わってきたんですよ。アレンジも変わってきた曲もあるし。ちょっとマニアックなんですけど、そんなところも楽しんでいただけたら。

MM: 皆様にメッセージを!

勝: オシャレしてくるんだぜ!

音楽は時に人に力を与え、心を弾ませ、時に慰め癒すパワーを持っています。そんな豊かな時間を作りたくて、November Eleventh で企画・ブッキングのお手伝いをさせて頂いています。November Eleventh は音楽への愛情がいっぱい込められた Live Bistro です。

「赤坂 Do you tonight?」はきっと、とびきり楽しいライブになります。是非いらしてください。感謝を込めて。

(有)マーサメリー Masako Yasutake masmary.com